

令和元年度 西東京市公民館 事業評価表

資料5

※ 評価欄 A~D

【目的】西東京市公民館事業評価は、公民館が持つ機能の充実を目指し、事業の改善を図ることを目的とする。

- A ..十分達成している
- B ..概ね達成している
- C ..今後の努力が必要
- D ..達成できていない

令和元年度 西東京市公民館 事業方針	西東京市公民館事業評価の指標
<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市公民館は、生活課題や地域課題を見据え、地域づくりにつながる視点を持って幅広く学習機会を提供し、課題解決に取り組む住民の主体的な学びを支援する事業を実施していきます。 ・人と人とのつながりを大切にしたい地域社会を創造していくために、住民が学び、活動、交流する場として、6館の公民館が十分に機能するように運営していきます。 ・だれもが学び集うことができるように、障がい者や外国人などの社会的に制約を受けやすい人に配慮します。 	<p>【重点的取り組む事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学びを通じた地域づくりに取り組む事業を実施します。 ■ 多世代が参加し、交流する事業を実施します。 ■ 障がいのある人とない人がともに学ぶ事業を実施します。 ■ 異なる文化背景をもつ人への理解を深める事業を実施します。 ■ 子育て世代の学びを支援する事業を実施します。
	<p>①「西東京市公民館の事業評価のあり方について」に対する答申(平成23年4月27日)に基づき、公民館事業全体の総合的な評価を行う。</p> <p>②数値のみでは表せない視点を盛り込んだ実績も積極的に評価に取り入れる。</p> <p>③評価内容は柔軟な評価を目標にして、定期的に見直しを行う。(見直しは検討会議を開催する)</p> <p>④事業評価の内容を公開する。</p> <p>⑤評価結果は今後の公民館事業計画及び運営に反映させる。</p> <p>⑥持続可能な社会づくりの観点で評価する。</p> <p>⑦市民本位の公民館経営における事業展開を適切に評価する。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇..評価 ◆..課題]	評価	評価及び課題 [◇..評価 ◆..課題]
(1) 学級・講座	個別事業	<p>【地域課題学習の提供・学習ニーズの反映】 地域や市民の実態、学習ニーズを反映した事業の実施に努めたか 市民が参加しやすい工夫を凝らしたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の取り上げ ・現代的課題の取り上げ ・新たな利用者の開拓 ・教育計画の反映 	<ul style="list-style-type: none"> * 全事業数 94件 ・地域課題の取り上げ 18件(19.1%) ・現代的課題の取り上げ 17件(18.1%) ・新たな利用者の開拓 41件(43.6%) ・教育計画の反映 54件(57.4%) <p style="text-align: right;">※重複あり</p>	B	<p>◇昨年度に引き続き、地域課題や現代的課題を学習する連続講座を積極的に実施した。</p> <p>◆令和2年度に総合計画や教育計画等の上位計画及び庁内関係計画を受けた中期的な事業計画を作成する。</p>	B	<p>◇講座において、地域課題や現代的課題を積極的に取り上げた点が評価できる。</p> <p>◆6館全体での課題分析や共有が十分ではないため、令和2年度中に策定予定の中期計画を踏まえ、計画的に地域課題学習の提供や学習ニーズの反映をした事業実施を期待したい。</p>
		<p>【学習者の視点】 学習者の視点に立った、適切な事業実施ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度 	<p>学習者の声 (A:満足 B:ほぼ満足 C:やや不満 D:不満) プログラムの満足度/AとBが合わせて 99% 講師の満足度/AとBが合わせて 98.7% 運営の満足度/AとBが合わせて 98.4%</p>	A	<p>◇受講者へのアンケート結果や感想から、事業・講座に対する受講者の満足度は高いと判断できる。</p> <p>◆受講者の各回の感想や終了後の感想等から、4段階評価では表れない受講者の評価を把握し、適切な事業計画、事業実施に努める。</p>	A	<p>◇アンケートによると、学習者の満足度はとても高い。なお、個別事業報告書にも記載されることがあるが、記述式の回答は講座受講者の生の声がわかるので、今後も丁寧に拾ってもらいたい。</p> <p>◆昨年度にも指摘したとおり、4段階評価では適切な分析ができるか疑問もあるため、検討を求める。</p>
		<p>【プロセス重視の運営】 プロセス重視の事業企画・運営に努めたか 市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会 ・実行委員会 ・参加型の学習(グループワーク、ワークショップ等)の工夫 ・相互学習 ・学習成果の発表 	<ul style="list-style-type: none"> * 全事業数 94件 ・準備会 16件(17%) ・実行委員会 8件(8.6%) ・参加型の学習の講座実施数 51件(54.3%) ・相互学習 16件(17%) ・学習成果の発表 16件(17%) <p style="text-align: right;">※重複あり</p>	A	<p>◇地域交流事業を中心に、準備会の開催や実行委員会方式の採用により、企画や運営に市民が主体的に参加する事業を実施した。また、多くの講座でグループワーク、ワークショップ等の参加型学習が取り入れられており、市民主体の学習とプロセス重視の事業企画・運営に意識的に取り組んだ。</p> <p>◆準備会や実行委員会の参加者が固定している事業もある。引き続き、新たな市民が参加できるような工夫を行う必要がある。</p>	B	<p>◇プロセスを重視した講座運営こそ、社会教育施設である公民館の真髄であり、大いに評価できる。</p> <p>◆新たな市民が参加できる工夫やしなやかさをさらに期待したい。また、学習成果の発表の場は学びの循環にもつながっているため、積極的に行ってもらいたい。</p>
		<p>【協働・連携、協力の視点】 協働や連携の視点で事業を企画・実施することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他課との協働・連携、協力 ・他教育施設との協働・連携、協力 ・他公共機関との協働・連携、協力 ・地域NPO等との協働・連携、協力 ・市民サークルとの協働・連携、協力 ・地域の人材との協働・連携、協力 	<ul style="list-style-type: none"> * 全事業数 94件 ・協働・連携 22件(23.4%) ・協力 22件(23.4%) 	B	<p>◇地域交流事業や地域課題を取り上げた講座等において、公民館利用団体や市民団体、地域住民、関係機関等との協力、連携、協働がさらに進んでいる。また、庁内他課との共催事業を実施した。</p> <p>◆6館の特性や地域性などを意識して、地域団体や学校との連携、協働のあり方を考えていく必要がある。</p>	A	<p>◇協働や連携こそ公民館らしい視点であると言え、各団体・機関や地域の人材等との連携・協働をさらに進めてほしい。</p> <p>◆引き続き、地域コミュニティの核の一つである学校との協働・連携を強化してもらいたい。また、次のステップとして「協創」という概念が出てきていることも踏まえてもらいたい。</p>
		<p>【だれもが学べる学習機会の提供】 社会的に制約を受けやすい人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、学習の機会を提供することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年対象・親子対象・高齢者対象・子育て中の女性対象・高齢者対象・障がい者対象・外国人対象などへ向けた事業実施 ・学習支援保育事業(※1)の実施 	<p>一般対象 41件/青少年対象 20件(小学生 14件、中学生 6件、15歳~18歳未満 0件、18歳~40歳未満 0件)/親子対象 9件/成人対象 25件/高齢者対象 2件/子育て中の女性対象(学習支援保育)10件/子育て中の女性対象 1件/子育て中の保護者対象(学習支援保育)0件/子育て中の保護者対象 1件/男性対象 1件/女性対象(学習支援保育)2件/女性対象 0件/勤労者対象 0件/障がい者対象 4件/外国人対象(学習支援保育)1件/外国人対象 0件/多世代交流 11件/その他 2件/学習支援保育付き事業 12件</p> <p style="text-align: right;">※重複あり</p>	A	<p>◇昨年度に引き続き、社会的に制約を受けやすい人に配慮しつつ、幅広い世代を対象に、さまざまな事業を実施した。さらに、障がい者や外国人にルーツをもつ市民等、社会的制約を受けやすい人が地域住民と交流する事業や学齢期の子どもを持つ親世代を対象とした事業、父と子を対象とした事業にも取り組んだ。また、要配慮者支援をテーマとした地域防災講座では、聴覚障がい者から受講希望があった回について、手話通訳をつけて実施した。</p> <p>◆あらゆる世代、あらゆる属性をもつ市民に学びの機会を提供するために、全館で調整し、計画的に事業を実施していく必要がある。</p>	A	<p>◇障がいの有無等に関わらず、ともに参加できる講座が増えたことは評価できる。</p> <p>◆不足している視点も存在するため、中期計画の検討等で丁寧な議論を行い、さらに取り組みを強化して行ってほしい。また、勤労者を対象とする夜間講座の実施についても前向きな検討をお願いしたい。</p>

		<p>【学びの課題】 多様な地域課題や社会的課題に対して、解決に向けた学習の機会を提供することができたか</p>	<p>子育てに関する事業、環境に関する事業、人権、平和に関する事業、男女平等参画、生きがい、仲間づくりに関する事業等の実施</p>	<p>* 全事業数 94件 子育て 19件／家庭教育 11件／食育 6件／健康 8件／男女平等参画 0件／女性の生き方 5件／高齢者問題 3件／高齢社会 5件／防災 5件／障がい者 5件／労働 0件／貧困問題 0件／人権 7件／平和 3件／環境 4件／国際理解 1件／多文化共生 3件／まちづくり 13件／メディアリテラシー 1件／仲間づくり 35件／生きがいづくり 15件／その他 6件(理科、日本語学習、歴史)</p>	<p>B</p> <p>◇昨年度に引き続き、地域的課題や社会的課題を中心に多様な課題を取り上げた事業を積極的に実施した。 ◆課題解決に取り組む市民の学習ニーズに応えるために、上位計画や庁内関係計画をふまえ、各館の特性や地域性なども考慮した上で中期的な事業計画を作成し、それに基づいて6館が連携して事業を実施する必要がある。</p>	<p>B</p> <p>◇生きづらさを抱えている方々の課題を取り上げるなど、学びのテーマが多岐にわたることが評価できる。 ◆6館全体で課題を共有し、計画的に学びの計画を進められるよう、中期計画の反映に全職員で取り組んでもらいたい。また、保育付き講座では、テーマに対して学びの対象者を限定することなく、柔軟に取り組んでほしい。</p>
	重点的な取り組み	重点的な取り組みに取り組んだか	<p>■学びを通じた地域づくりに取り組む事業を実施します。 ■多世代が参加し、交流する事業を実施します。 ■障がいのある人となない人がともに学ぶ事業を実施します。 ■異なる文化背景をもつ人への理解を深める事業を実施します。 ■子育て世代の学びを支援する事業を実施します。</p>	<p>・学びを通じた地域づくりに取り組む事業 9件 ・多世代が参加し、交流する事業 8件 ・障がいのある人となない人がともに学ぶ事業 2件 ・異なる文化背景をもつ人への理解を深める事業 2件 ・子育て世代の学びを支援する事業 16件</p>	<p>A</p> <p>◇多世代が参加し交流する事業及び子育て世代の学びを支援する事業については全館で実施。学びを通じた地域づくりに取り組む事業、障がいのある人となない人がともに学ぶ事業、異なる文化背景をもつ人への理解を深める事業は、分担して実施し、前年度の取り組みをさらに進めることができた。 ◆多世代が参加し交流する事業については、従前から実施している公民館まつり等の地域交流事業の継続だけでなく、地域の教育力向上につながるような新たな取り組みが必要である。</p>	<p>A</p> <p>◇教育計画に定められた重点施策として、十分に実施された。 ◆地域の教育力向上につなげるためにも、6館で情報共有を進めて、新たな事業の提案及び実施を期待する。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(2)	施設管理	<p>【学習環境としての整備】 市民の学習権を保障する施設として、エコの観点に配慮しつつ、利用者が快適に使える環境整備を行う</p>	<p>・団体連絡箱の適切な提供 ・印刷機等の提供 ・ロビーの環境整備</p>	<p>・団体連絡箱利用団体数(6館合計) 415団体 * 団体連絡箱の総数(6館合計) 486 ・印刷機利用件数(6館合計) 1672件</p>	A	<p>◇団体連絡箱や印刷機の提供により、団体活動を支援した。団体連絡箱については、団体の利用希望をおおむね充足している。ロビーについては、柳沢公民館は学習や打ち合わせに利用できるテーブルを設置、芝久保公民館はテーブルの数を増やすなどの環境整備に努めた。芝久保公民館ではロビー利用者の増加につながった。 ◆新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、ロビー等の施設の環境整備に努める。</p>	A	<p>◇団体連絡箱や印刷機の利用については各館とも丁寧な対応がなされており、ロビーのレイアウト等も工夫され、市民が利用しやすい環境が整いつつあることは評価できる。公民館として基本的な機能であり、さらなる充実を求めたい。 ◆全国的にWi-Fiの導入について検討が進んできているため、検討をお願いしたい。</p>
	防災	<p>【防災】 地域防災力の向上と防災を意識した施設管理に努める</p>	<p>・防災訓練の実施 ・防災対応マニュアル ・防災備品の管理 ・帰宅困難者一時滞在施設としての整備</p>	<p>・防災訓練の実施 21件 ・防災対応マニュアルの整備 ・防災備品の管理</p>	A	<p>◇昨年度に引き続き、警備職員等も含めた全職員が防災無線を活用することができるように、全館合同の防災無線訓練を定期的実施した。また、災害時における柳沢・谷戸・ひばりが丘公民館、谷戸図書館、4館の連携を確認するために合同防災訓練を実施した。 ◆引き続き、定期的な防災訓練の実施に努める。</p>	A	<p>◇職員の防災行政無線による通信訓練や、図書館も含めた4館合同の防災訓練の実施は評価できる。 ◆職員に対する基本的な訓練は十分とは言えないため、引き続き充実を求めたい。また、鍵等とともに渡される配布物や掲示等で避難経路などは示されているが、利用者への周知や合同訓練も求められる。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(3)	窓口業務	<p>【学習情報整理】 学習情報の収集・整理・共有化を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行う</p>	<p>・団体一覧の更新(年1回) ・各団体の館内掲示物の整理や保管 ・チラシ、会員募集等の随時整理 ※団体の登録の更新(5年に1回)</p>	<p>・団体の定期的な活動情報の更新(年1回) ・サークル紹介冊子の作成・配布(柳沢・芝久保・谷戸・ひばり) ・サークル紹介用ファイル設置(田無・芝久保)</p>	A	<p>◇団体一覧やサークル紹介紙、ポスターの掲示、チラシの配架等により、団体及び学習情報の整理、提供を行った。 ◆配架・掲示を終了したチラシ・ポスター等を収集、整理し、団体情報の提供に活かす必要がある。</p>	A	<p>◇ロビーなどを活用して、チラシやポスターなどが効果的に配架・掲示され、工夫して団体紹介や学習情報の提供が行われている。ここで配布されるチラシ等は、公民館活動の歴史資料でもあり、将来に向けての保存についても検討されたい。 ◆館によっては、市民が自由に団体情報を閲覧できるようにしているが、6館すべての情報を網羅し、分野ごとにまとめた紹介ファイルやポータルサイトの運営を検討されたい。</p>
		<p>【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにすることができるように学習相談を実施する</p>	<p>・公民館登録団体に関する情報提供 ・団体からの各種相談に対する対応</p>	<p>・書面による公民館登録団体の紹介 204件</p>	B	<p>◇窓口及び電話で、市民の求めに応じて、サークル紹介冊子も活用しながら、団体情報の提供を中心とした学習相談を行った。また、主催講座から発足した自主グループ等の相談にも応じ、支援した。 ◆会員の高齢化により、存続が困難になっている団体も多い。新規会員の加入や団体活動の継続を支援する取り組みや、団体が相談しやすい関係づくりが必要である。市民の学習相談に応える際は、的確なニーズ把握と情報提供に努める。</p>	B	<p>◇書面により、公民館登録団体を多数紹介できたことはたいへん評価できる。市民の学習機会をつなげるため、さらに充実させてほしい。 ◆電話での問い合わせも多いようだが、電話の問い合わせの内容把握が今後の事業運営や学びの支援につながる貴重なデータとなるので、内容把握の体制づくりに努めてほしい。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(4) 長期的視点での人づくり	学習単年度成果	【学習の継続と成果】 事業参加者の学習活動の総括・学習成果の発表・学習の継続を支援する	・記録誌、記念誌の発行 ・主催講座からサークル化した団体数	・サークルの立ち上げ 13団体 ・公民館保育室活動の記録誌発行 5冊(各館1冊) ・主催講座の記録誌発行 10冊 ・まつり、フェスティバル等地域交流事業記録誌発行(田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前) 5冊	A	◇受講者同士が関係を形成しながら学習活動を継続していくことができるよう、自主サークル化の支援を行った。臨時休館により作業途中のものもあるが、受講者による記録誌の作成を学習活動として位置付け、支援した。 ◆新しく発足したサークルの活動が安定するよう、引き続き支援に努める。講座終了後の振り返りの会の実施など、さまざまな方法で学習者自身による学習活動の総括に取り組む。	A	◇記録誌、記念誌の作成を含めた学習の振り返りはとても有意義なものになっている。 ◆記録誌、記念誌作成は労力もかかるが、作成の目的や意義を共有することを大切にほしい。また、職員間でも実践事例やアイデアを共有する機会を設けられると望ましい。
	学習経成年果	【学びの還元】 公民館で長期的な活動を行う市民・団体を地域資源としてとらえ、その力を公民館事業に活かすとともに、学習成果の地域還元を支援する	・地域交流事業への参加支援 ・フェスティバル及びまつりの実施 ・公民館ロビーでの展示、発表 ・記録誌の活用 ・市民企画事業の実施(※2)	・地域交流事業 12件 *公民館まつり等 6件(全館) ヤギフェス、田無公民館まつり、芝久保公民館まつり、谷戸まつり、駅前フェスタ *ロビーコンサート 3件(柳沢、田無、ひばりが丘) *陶芸体験教室(柳沢) *やぎさわディスコ(柳沢) *サークル体験会(ひばりが丘) ・ロビーにおける市民団体による学習の成果発表数 53件 ・市民企画事業の実施 23件	A	◇引き続き団体等の学習成果の発表の場、地域交流の場として、全館で実行委員会方式の「まつり」「フェスティバル」等やロビーコンサートを実施した。民主的な運営が求められ、合意形成の場である実行委員会は、参加者にとって学習の場ともなっている。そのほかに、複数の講座で団体等に講師を依頼した。市民企画事業においては、多数の団体が日頃の学習活動で培った経験や知識等を活かして、市民に学びの機会を提供した。 ◆実行委員会や利用者懇談会、市民企画事業報告会、保育室運営会議等が、活動歴の長い団体と活動歴が短い団体が交流し、学び合う場となるよう、工夫する。	A	◇地域交流事業としての公民館まつり等は、公民館ならではの事業であり、各館や地域の特色を生かした実施がなされている。なお、学びの還元には自己還元と地域還元との二面性があることも意識してもらいたい。 ◆まずは職員自身が地域交流事業や市民企画事業の目的を再確認し、参加者や利用者に共有できるようにしてもらいたい。
	地域づくり	【市民参加】 市民本位の公民館運営の実現のために、館の運営及び事業の企画・運営への市民参加を促進する	・公民館運営審議会の開催(月1回) ・事業実施のための準備会開催 ・実行委員会方式による事業の実施 ・利用者懇談会の開催	・公民館運営審議会の開催 12回 ・事業実施のための準備会 16件 ・実行委員会方式による事業の実施 8件 ・全館で利用者懇談会を開催 ・対象者別利用者懇談会の開催(陶芸:柳沢・芝久保、実習室:田無)	A	◇従前からの利用者懇談会の実施、準備会の開催、実行委員会方式による事業の実施のほか、準備会参加者や前年度講座の受講者が講座の運営に参加するなど、館の運営や事業の企画・運営への市民参加を進めた。また、参加者の交流を図るため、利用者懇談会の内容を工夫した。 ◆引き続き、館の運営や事業の企画・運営への市民参加に努める。	B	◇丁寧な市民参加の環境づくりは評価できる。 ◆市民参加は公民館としては大前提である。その上で若い世代や新たな利用者の参加促進など、具体的に今後の市民参加のあり方を検討してもらいたい。
		【届ける社会教育】 公民館の施設にとどまらず、市内全域で社会教育事業を実施することに努める	・他施設を利用した主催事業の実施	・他施設を利用した主催事業の実施 8件 下野谷遺跡から学ぶ(柳沢)、防災講座(田無)、子ども体験講座・防災講座・健康講座・2020パラリンピック講座(芝久保)、環境講座・人権講座(保谷駅前)	A	◇会場として他施設を利用するだけでなく、その施設に関する団体・機関等と連携・協力して実施する事業も複数、開催した。他施設の機能を活かすことで、事業の幅も広がった。 ◆地域団体や関係機関と連携・協力しながら、他施設を活用し、地域の中で事業を展開していく必要がある。	B	◇公民館の施設だけでなく、他施設を利用した事業を行ったことは評価できる。 ◆地域に求められる今後の「届ける社会教育」とはどのようなものかについて、6館全体で再度議論をお願いしたい。公民館がない地域にも出かけていくような事業展開も期待する。
		【公民館だより】 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信する。	・公民館だよりでの団体紹介 ・公民館だよりでの人物紹介 ・社会教育的な課題や情報の提供	・公民館だよりでの団体紹介 0件 ・公民館だよりでの人物紹介 8件 ・公民館だよりでの地域課題・地域情報等の取り上げ 7件	A	◇一面特集では、文化財や自然などの地域情報、郷土の歴史、地域防災、公民館の紹介などを取り上げ、公民館に関する広報だけでなく、市民が多角的に地域を知ることができる紙面づくりに努めた。 ◆事務事業評価により、令和2年度から公民館だよりの紙面が縮減される。公民館に関する広報主体の紙面となるが、量的に少なくとも限られた紙面で地域情報等を伝えていくことが課題であると考えます。	C	◇一面における地域課題や地域情報等の取り上げについては、内容も充実しており、読みごたえがあつてよかった。 ◆公民館だよりの意義を最大限発揮させるためには、現在の職員体制やしくみでは厳しいと考える。また、市民参加を促しながら紙面を作るべきではないか。公民館だよりだからこそ、若い人の紹介や団体の活動紹介を載せてほしい。
重点的な取り組み	重点的な取り組みに取り組んだか	■学びを通じた地域づくりに取り組む事業を実施します。 ■多世代が参加し、交流する事業を実施します。	・学びを通じた地域づくりに取り組む事業 9件 ・講座終了後、サークル化した講座 13件 ※例) ひばりが丘公民館 「子どもの課題を考える講座」から「不登校情報ネットワーク ハートラインひばりが丘」が発足 ・多世代が参加し、交流する事業 8件	A	◇公民館を拠点に活動する団体の日頃の成果を発表し、多世代が交流する機会として、実行委員会方式で企画・運営するまつりやフェスティバルを全館で実施した。市民企画事業においては、新しくこの制度を利用して事業を実施した団体が6団体ある。地域づくり未来大学のほか、防災や環境等の学習テーマの講座でも、地域づくりを取り上げた。また、多くの講座で、受講者の関係形成に配慮し、地域のつながりが生まれるよう、努めた。 ◆防災や環境等、地域課題を取り上げる講座では、市民団体や関係機関等との連携が進んだ。今後も拡充していく必要がある。	A	◇学びから地域づくりに参画するような仕掛けのある事業が積極的に実施された。 ◆引き続き、学びから地域づくりに参画していく仕掛けを盛り込んだ事業実施を求める。また、特に若い世代を巻き込み、多世代が参加し、交流する場を積極的に展開してもらいたい。	

■※1. 学習支援保育事業とは…乳幼児を育てている市民に対して、多様な学習機会を保障し、出会いと学びあいの機会を生み出すような公民館の公費保育制度です。親子の学びと成長を継続的に支え、学びの成果を地域へ発信・還元できるように支援します。

■※2. 市民企画事業とは…市内の自主グループが企画した事業を一定の審査の上、公民館事業として実施するものです。自主グループが日頃の活動で培った知恵やノウハウを生かして市民にさまざまな学習機会を提供し、地域を豊かにすることが目的です。

■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月1日から臨時休館したことにより実施できなかった事業(12事業)については、評価の対象としていない。